



年末年始の薬の取り扱いについて

12月14日付の通知の通り、年末年始(12/28(月)17:00~1/4(月)8:30)に使用する薬剤の請求は以下の通りになっています。

【内服・外用薬：調剤室 (☎2669)】

年末年始に投与予定の処方箋は12/28(月)17:00までにオーダーしてください。また、入院時間外処方箋は長期コメントを入力しても最大3日分しか処方できませんのでご注意ください。時間外は薬剤部のシステムが稼働していないため、自動錠剤分包は行うことができませんので、ご了承ください。

【注射薬：注射調剤室 (☎2724)】 予定注射の締切日にご確認ください。

実施日	入力締切日	交付日
12/25~12/27	12/24(木)の各診療科の締切時間まで	12/24(木)
12/28~12/31	12/25(金)の各診療科の締切時間まで	12/25(金)
1/1~1/4	12/28(月)の各診療科の締切時間まで	12/28(月)

※病棟在庫を有効活用していただき、協定在庫使用でオーダーして下さい。翌日にストック使用分として病棟へ送付します。

【院内製剤：製剤室 (☎2666)】 12/29(火)~1/3(日)使用分は、12/24(木)までにご請求ください。

【薬物血中濃度：研究室 (☎2671)】 12/29(火)~1/3(日)まで休止します。

【処置薬：薬務室 (☎2667)】

12/29(火)~1/3(日)使用分は、12/21(月)17:00までにご請求ください。払出しは12/24(木)です。(年始の発注は1/4(月)17:00締切、払出しは1/7(木)。)

※年末年始期間中の連絡先は当直室☎2669へ

注射処方箋による年末年始の調剤・搬送について

年末年始は6連休のため最長8日分の調剤を行うこととなります。これを一度に搬送すると薬剤部のみならず、病棟でも混乱を起こしかねません。また、中止による削除や修正で大量の返却も予想されます。

従いまして、業務を円滑に遂行するために注射処方箋による年末年始の調剤・搬送は当日および翌日の実施日分のみとさせていただきます。

なお、処方箋送付後に中止された場合は、実施日に中止薬剤が搬送されることもありますので、可能な限り、処方箋及びラベルは当日+翌日のみ送付してください。

例) 12/29は12/29の実施分+12/30の実施分を調剤・搬送、12/31の実施分は12/30に調剤・搬送する。
ご理解の上、ご協力よろしくお願いたします。

麻薬免許証の期限切れにご注意ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌年の12月31日までです。来年は「第15-」、「第16-」以外はすべて無効になります。今一度ご確認ください。

医薬品・医療機器等安全性情報 No. 328

★酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症について

酸化マグネシウムによる高マグネシウム血症については、平成20年9月に使用上の注意を改訂し、注意喚起を図ってきたが、その後の当該副作用の報告状況を整理・調査した結果、高齢者への投与等について更なる注意喚起を図る必要があるとされたことを受け、関係企業に対し、平成27年10月20日に使用上の注意の改訂指示を行ったので、その安全対策の内容等について紹介する。

★医薬品等副作用被害救済制度の概要と医薬品の使用が適正と認められない事例について

近年、医薬品副作用被害救済制度における請求件数は増加しており、制度の周知のため、本救済制度の概要について紹介する。また、救済給付が認められなかった事例のうち医薬品の使用が適正でなかったために不支給となった事例について、具体的に紹介するとともに、医薬品の適正使用の徹底をお願いする。

★妊娠と薬情報センターについて

厚生労働省では、平成17年10月から国立成育医療研究センターに「妊娠と薬情報センター」を設置し、相談業務及び調査業務を実施しているところだが、昨年度に引き続き本年度も新たな病院の協力を得て体制を強化したので紹介する。また、平成27年11月3日に妊娠と薬情報センター開設10周年記念フォーラムが開催されたので、フォーラムの内容について紹介する。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重大な副作用等について、改訂内容等を紹介する。

◎アスナブレビル(商品名:スンベプラcap100mg)＜抗ウイルス剤＞

◎ダクラタスビル塩酸塩(商品名:ダクルインザ錠60mg)＜抗ウイルス剤＞

【重大な副作用】間質性肺炎…咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常(捻髪音)等が認められた場合には、胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。間質性肺炎が疑われた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※間質性肺炎関連症例：4例(うち死亡0例)(平成26年9月～平成27年8月)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

効能効果追加のお知らせ

◎ハイカムテン注射用1.1mg(一般名:ノギテカン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍剤＞

【効能・効果】進行又は再発の子宮頸癌

【用法・用量】シスプラチンとの併用で、1日1回0.75mg/m²を3日間連日点滴静注し、少なくとも18日間休薬。これを1コースとして投与を繰り返す。適宜減量。

◎オブジーボ点滴静注20mg,100mg(一般名:ニボルマブ(遺伝子組換え))＜抗悪性腫瘍剤＞

【効能・効果】切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

【用法・用量】1回3mg/kgを2週間間隔で点滴静注。

製造販売承認承継のお知らせ

◎マクジェン硝子体内注射用キット0.3mg(一般名:ペガプタニブナトリウム)＜加齢黄斑変性症治療剤＞

製造販売移管：ファイザー株式会社→ボシユロム・ジャパン株式会社(2015年11月30日)

供給中止のお知らせ

- ◎プリジスタ錠300mg(一般名:ダルナビルエタノール付加物)〈抗HIV薬〉
供給中止(代替薬:プリジスタ錠600mg)。

包装変更等のお知らせ

- ◎タミフルcap75mg(一般名:オセルタミビルリン酸塩)〈抗インフルエンザウイルス剤〉
◎ベタメタゾン錠0.5mg「サワイ」(一般名:ベタメタゾン)〈合成副腎皮質ホルモン剤〉
◎リマチル錠100mg(一般名:ブシラミン)〈抗リウマチ剤〉
◎ヴォトリエント錠200mg(一般名:パゾパニブ塩酸塩)〈抗悪性腫瘍剤〉
◎レボレード錠12.5mg(一般名:エルトロンボパグオラミン)〈経口血小板増加薬〉
PTPシート、包装デザイン等変更。

- ◎アクテムラ皮下注162mgオートインジェクター(一般名:トシリズマブ(遺伝子組換え))
〈ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体〉
シリンジ材質および形状等変更。

- ◎バンコマイシン塩酸塩散0.5g「MEEK」(一般名:バンコマイシン塩酸塩)〈グリコペプチド系抗生物質製剤〉
◎バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「MEEK」(一般名:バンコマイシン塩酸塩)〈グリコペプチド系抗生物質製剤〉
販売名変更(変更前:塩酸バンコマイシン散0.5「MEEK」、点滴静注用バンコマイシン0.5「MEEK」)及び包装変更。

- ◎フォシーガ錠5mg(一般名:ダパグリフロジンプロピレングリコール)〈選択的SGLT2阻害剤〉
製造販売元の承継に伴う包装変更。

オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2015. 12. 3	イリボー錠 5 μ g	イリボー0D錠 2.5 μ g 採用のため
	ルナベル配合錠 LD	ルナベル配合錠 ULD 採用のため
2015. 12. 11	アボルブ cap0.5mg	出荷調整につきオーダー一時停止

「薬-薬連携による副作用シグナル検出システム」第18回報告会開催

2011年4月1日から山口大学医学部附属病院薬剤部と宇部薬剤師会との連携で行っている「副作用シグナル検出システム」について、システムの改善策や要望等を協議するため、双方で定期的に報告会を開催しています。第18回報告会を以下の日程及び内容で開催しました。

【日時】2015年11月26日(木) 19:30~20:30

【場所】山口大学医学部保健学科 S2 講義室

【主な内容】・医師への副作用シグナル報告例の詳細

・添付文書上の定期的な検査は施行されているか

☆Drug Safety Update No. 245 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ホメビゾール (ホメビゾール点滴静注 「タケダ」)	※重大な副作用：アナフィラキシー …十分観察を行い、呼吸困難、喘鳴、潮紅等の異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。
ニボルマブ（遺伝子組換え） (オプジーボ点滴静注)	※重大な副作用：1型糖尿病 …1型糖尿病（劇症1型糖尿病を含む）があらわれ、糖尿病性ケトアシドーシスに至ることがあるので、口渇、悪心、嘔吐等の症状の発現や血糖値の上昇に十分注意。1型糖尿病が疑われた場合には投与中止、インスリン製剤の投与等の適切な処置。
レンバチニブメシル酸塩 (レンビマブセル) <緊急購入薬>	※慎重投与：頸動脈・静脈等への腫瘍浸潤のある患者 ※重要な基本的注意： 本剤投与中に腫瘍縮小・壊死に伴い、頸動脈露出、頸動脈出血、腫瘍出血があらわれることがある。また、頸動脈露出部位や皮膚瘻形成部位より大量出血した例が認められており、気管瘻や食道瘻を形成している場合には、喀血や吐血のおそれがある。本剤投与前には頸動脈・静脈等への腫瘍浸潤を十分確認するとともに、本剤の投与期間中は患者の状態の観察や瘻孔形成の有無の確認を十分に行う。出血が認められた場合には、必要に応じて投与中止し、適切な処置。なお、甲状腺未分化癌患者では、頸動脈・静脈への腫瘍浸潤例が多いので、特に注意する。 ※重大な副作用：出血…腫瘍縮小・壊死に伴う頸動脈出血、腫瘍出血があらわれることがある。
エルビテグラーベル・コヒシタット・ エムトリシタビン・テノホビルシソプロキ シルマール酸塩 (スタリビルト配合錠)	※禁忌、併用禁忌：カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン

※DSUについて：最重要、重要の情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品・医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能